

■巻頭コラム

新たな 50 年へ向けて一心に木を植える—	白鳥則郎	1
落語と IT	桂 三枝	2
情報処理への想い	細川茂樹	3
川柳と twitter	やすみりえ	4・5
TOMOSHIBI—地震が来たら—	サンプラザ中野くん	6
情報の海の泳ぎ方～原発事故から学ぶこと～	元村有希子	7
時代遅れの距離	難波利三	8
展開	村井 純	9
モノと情報の移動	西成活裕	10
向谷倶楽部の挑戦	向谷 実	11
ソフトウェアにおける 2 つの世界	中小路久美代	12

■巻頭言

復興と再成長に向け情報処理技術が牽引を—会長就任にあたって—	古川一夫	7- 762
--------------------------------	------	--------

■巻頭メッセージ

東日本大震災と学会のこれから	白鳥則郎	4・5
合併号のいい訳	中島秀之	4・5- 396

■座談会

情報系学長、おおいに語る	浅田尚紀・有川節夫・伊東幸宏・片山卓也・小畑秀文・白井克彦・都倉信樹・中島秀之・進行、構成：田柳恵美子	1- 2
--------------	---	------

■ 3.11 大震災特別企画

3.11 震災後のメッセージ		6- 606
インタラクシオン 2011 開催報告～東日本大地震による避難体験を中心に～	角 康之	6- 614
被災記：再生を目指して—大震災から 50 日	白鳥則郎	7- 765
3.11 震災後のメッセージ 第二弾		7- 768
内閣官房参加からのメッセージ	日比野靖	8- 904
大震災の記録保存に努力しよう	長尾 真	9- 1056

■特集

「未来社会をプロデュースする ICT」

0. 編集にあたって～21 世紀「次の 10 年」をプロデュースする ICT～	水野忠則・茂木 強	1- 12
【未来プロデューサー 7】		
1. クルマをネットワーク化する～安全、快適で環境にやさしいクルマ社会を目指して～	小花貞夫・屋代智之	1- 14
2. モバイル ICT で人、モノ、システムを深くつなげる～状況を認識し、常時つながるプラットフォーム～	竹下 敦・太田 賢・山口弘純	1- 19
3. インターネット技術の箱庭をつくる～検証されたネットワーク技術による信頼性の高い情報基盤の確立を目指して～	三輪信介・宮地利幸・土井裕介	1- 24
4. 身体的遠隔コミュニケーション空間を実現する～メディアを介した多人数対話のメカニズムの解明～	葛岡英明	1- 28
5. 大規模データベースと装着型センサで人間行動を理解する～次世代の快適・健康システムの実現を目指して～	河口信夫	1- 32
6. セキュリティ技術でスマートフォンの未来を支える～環境へスマートに適応する携帯端末～	竹森敬祐	1- 37
7. アーバンセンシングで新たなサービスを展開する～センサ情報とサイバー情報を融合した近未来サービスの実現～	原 隆浩	1- 41
【若手プロデューサー 10】		
8. ユーザをさりげなく支援する～ユーザの意図を読み取るサービスプラットフォーム～	篠原昌子	1- 46
9. 学びと教を豊かにする～身につく電子メディアの誕生を目指して～	市村 哲	1- 48
10. コミュニティの力を働かせる～多様で良質なコンテンツをみんなの力で創出～	吉野 孝	1- 50
11. 電子タグで日本のモノづくりを元気にする～多様なタグとリーダーが製造業を変える～	亀丸敏久	1- 52
12. 近距離無線通信を直感的にする～実空間を融合する通信技術の実現に向けて～	田頭茂明・荒川 豊	1- 54
13. 電源コードをなくす～無線電力伝送とエナジーハーベスティング～	川原圭博	1- 56
14. 環境調和型クラウドコンピューティングを実現する～超組込みシステム技術による究極の電力効率を目指して～	田中信吾	1- 58
15. インターネット技術でエネルギーを創り出す～QoS 経路制御から電力制御へ～	小山洋一・岡本暁広	1- 60
16. ストリーミング配信で「今」に感動を与える～放送コンピューティングによる未来型コンテンツ配信サービス～	義久智樹・後藤祐介	1- 62
17. ユーザに安心を提供する～トラックドライバの安全運転に対する安心感を事例として～	藤原康宏・永吉孝行	1- 64

「音声・映像認識連携への取り組み」

0. 編集にあたって	有木康雄・奥村明俊	1- 67
1. 音声・映像情報の構造化と検索	越仲孝文・大網亮磨・細見 格・今岡 仁	1- 71
2. 映像情報を用いた音声対話	香山健太郎	1- 79
3. 画像と音声情報を統合した発話認識	有木康雄・駒井祐人	1- 87

「あから 2010 勝利への道」

0. 編集にあたって	松原 仁	2- 152
1. 対戦までの準備と当日の様相	伊藤毅志	2- 154
2. あから 2010 のシステム設計と操作概要	保木邦仁・金子知適・横山大作・小幡拓弥・山下 宏	2- 162
3. 清水女流王将対策と序盤戦術	橋本 剛	2- 170
4. 清水女流王将 vs あから 2010: コンピュータの思考過程を追う	鶴岡慶雅・金子知適・山下 宏・保木邦仁	2- 175
5. コンピュータとの対戦を終えて—創立 50 周年記念祝賀会での挨拶より—	清水市代	2- 181
6. コンピュータとの対戦を終えて—創立 50 周年記念祝賀会での挨拶より—	中川大輔	2- 183
7. 今回の対局の解説を務めて	佐藤康光	2- 185
8. トッププロ棋士に勝つためのコンピュータ将棋委員会の生い立ち	中島秀之	2- 188

「情報処理学会推薦卒業論文・修士論文速報」

0. 編集にあたって	坂井修一・胡 振江	2- 191
1. 情報処理学会推薦卒業論文速報		2- 192
2. 情報処理学会推薦修士論文速報		2- 202

「リンクするデータ (Linked Data) ～広がり始めたデータのクラウド～」

0. 編集にあたって	長野伸一・萩野達也	3- 282
1. Linked Data の仕組み Linked Data-The Story So Far	Christian Bizer・Tom Heath・Tim Berners-Lee・翻訳: 萩野達也	3- 284
2. Linked Data とメディア—メディアが Linked Data を活用する理由—	乙守信行・湯本正典	3- 293
3. 次世代の医薬品開発を支える知識流通	細見 格・長野伸一・岡部雅夫	3- 300
4. オープンガバメントとオープンデータ	佐藤宏之・飯塚京士・三島和恵	3- 309
5. Linked Data と地理空間情報	清水 昇・三島和恵・山口章平・津田 宏・糸 照宣	3- 318
6. 日本における Linked Data の現状と普及に向けた課題	武田英明	3- 326

「全国技術系勉強会マップ～技術者のライブセッションに参加しよう!～」

0. 編集にあたって	田中秀樹	4•5- 398
1. 技術系勉強会が熱い	吉岡弘隆	4•5- 400
2. イベント開催支援ツール「ATND (アテンド)」の裏側	川崎有亮・小林賢司	4•5- 407
3. 勉強会は何を生み出したか? 勉強会を支援する側から	津久井玲宏・荒井一広・佐藤浩二・文: 曾我一弘	4•5- 413
4. よく分かる! 勉強会の作り方	渡辺慎二郎・橋本正徳	4•5- 420
5. 全国技術系勉強会マップ～主催者からのメッセージ～ LOCAL 学生部 / Test Engineer's Forum 北海道 (略称: TEF 道 (てふどう)) / 東北情報セキュリティ勉強会 / 東北デベロッパーズコミュニティ / 日本 Android の会 群馬支部 / CakePHP 勉強会 / ClubDB2 / DevLOVE / Flash とおやつの会 / Formal Methods Forum / F-site / InfoTalk — AIIIT Monthly Forum / OpenSolaris 勉強会 / TechHUB 社会人から学生の皆さんへの技術伝達勉強会 / Tokyu.rb / アルゴリズム勉強会 / 決定不能の会 / 圏論飲み会 / CLIT 読書会 / 自然言語処理勉強会@東京 (#TokyoNLP) / 知創研勉強会 / プログラミング生放送勉強会 / 日本 Android の会 テスト部 (ATEC) / Java 読書会 BOF / コンピュータビジョン勉強会@関東 / HTML5-FIT / 長野ソフトウェア技術者グループ (NSEG) / DSTokai / FLOSS 桜山勉強会 / OCaml-Nagoya / Proof Cafe (栄) / Ruby/Rails 勉強会 / 関西 IT 勉強会 / OpenOffice.org 講習会 / 山陰 ITPro 勉強会 / 日本 Android の会 中国支部 / オープンフォース / AppleKnight / 水曜どうしよう / セキュリティとんこつ—ばりかた勉強会 / 日本 Android の会 熊本支部 / 日本 Android の会 鹿児島支部 / Java Küche / 日本 Androidno 会 沖縄支部 / 米国シリコンバレーにおける勉強会事情		4•5- 425

「バーチャルリアリティとインタラクティブアートの相互作用による発展」

0. 編集にあたって	西村邦裕・高木幸一	4•5- 473
1. 未来のつくりかた—クリエイティブプラットフォームとしての Ars Electronica—	小川秀明・Christopher Lindinger	4•5- 474
2. 羽田空港におけるデジタルパブリックアート「空気の港」展	西村邦裕	4•5- 481
3. デジタルミュージアム	廣瀬通孝	4•5- 492
4. デジタルアーカイブとバーチャルリアリティ	安藤 真・斉藤友明	4•5- 498
5. インタラクティブな展示体験とコミュニケーションを創発するデザイン	中川雅寛・萩野健司	4•5- 506

「時間とコンピュータ」

0. 編集にあたって	塚本昌彦	6- 618
1. ロボットと時間	瀬名秀明	6- 620
2. ジェミノイドの時間	石黒 浩	6- 622
3. 将棋と時間	羽生善治	6- 623
4. コンピュータ将棋と時間	松原 仁	6- 624
5. デジタルゲーム AI の時間—時間の流れを認識する AI—	三宅陽一郎	6- 625
6. 時刻表現の状況依存性	中島秀之	6- 627
7. 時間分岐 / 人生の棋譜化	青山拓央	6- 629
8. 現在 = 潜在的な共鳴: 群れをモデルとする時間	郡司ベギオ幸夫	6- 631
9. 宇宙開闢とプランクタイム	福江 純	6- 633

10. 量子コンピューティングとタイムマシン	萩谷昌己	6- 635
11. 生物学の中の時間	糸 和彦	6- 637
12. 聴覚と時間	柏野牧夫	6- 639
13. ネット・ケータイ時代の時間社会学	辻 正二	6- 641
14. ワーク・ライフバランス実現のために～時間×IT ツール～	小室淑恵	6- 643
15. ユーザインタフェースと時間感覚	増井俊之	6- 645
16. デジタル文具の時間	高畑正幸	6- 647
17. 時の可視化手段としてのライフログ	大橋正良	6- 648
18. ソフトウェアの時間	柴山悦哉	6- 650
19. ソフトウェア開発と時間	阪井 誠	6- 652
20. 2000年問題から2036年問題, 2038年問題へ	浦川伸一	6- 654
21. アルゴの国の時間の夢	伊藤大雄	6- 656
22. 社会と共に成長する情報システムへの思い	山田敬嗣	6- 658
23. 時の栖—時間と通信—	白鳥則郎	6- 660
「クラウドを支えるデータストレージ技術」		
0. 編集にあたって	横田治夫・天笠俊之	6- 662
1. クラウドストレージ標準化の最新動向	吉田 浩	6- 665
2. 万人のためのクラウドデータベース, Evernote その仕組みと展望	堀 正岳	6- 672
3. ROMA の概要とその利用事例について	西澤無我・鳥居順次・滝澤 順	6- 678
4. データクラウド研究の潮流と最新動向	宮崎 純・鬼塚 真	6- 684
5. クラウド時代を支えるグリーンなデータセンタのストレージ技術動向	長谷部賀洋・小林 大・菅 真樹	6- 693
6. iSCSI と FCoE によるストレージ構築～ストレージネットワークの進化～	小口正人	6- 700
7. クラウドストレージにおける個人情報の利活用とプライバシー保護	佐久間淳・高橋克巳	6- 706
「アナログテレビ放送の終焉」		
0. 編集にあたって	山田 宰・長谷川亨	7- 774
1. ハイビジョンからデジタルハイビジョンへ	羽鳥光俊	7- 777
2. 地上テレビジョン放送のデジタル化への取り組み	辻 栄一	7- 786
3. 地上デジタル放送の研究開発と海外展開	山田 宰	7- 792
4. ISDB-Tmm 放送技術とサービス	山田 暁・松岡保静・萩原淳一郎・北原 亮	7- 800
5. VHF-LOW 帯マルチメディア放送～アナログテレビ放送終了後の周波数有効利用に向けて～	黒田 徹	7- 805
6. 700MHz 帯を使った新しい ITS アプリケーション	屋代智之	7- 811
7. デジタルテレビはどう変わるか～通信機能によるテレビの進展～	加藤久和	7- 819
8. デジタルケーブルテレビ関連技術およびサービス動向	宮地悟史	7- 825
9. 新しいメディアとしての IPTV サービス	岸上順一	7- 833
「夏休み工作のためのフィジカルコンピューティング」		
0. 編集にあたって	迎山和司	8- 912
【第1部 夏休みに工作をしたい人たちへ愛をこめて】		
1. フィジカルコンピューティング概論	小林 茂	8- 914
2. マイコン・ツールキット入門		
2.1 Gainer 入門—Processing と Funnel で簡単に実現できる I/O インタフェース—	遠藤孝則	8- 918
2.2 Arduino 入門—15万台の販売実績を持つマイコンボード—	菅野 創	8- 922
2.3 Phidgets 入門—工作不要の元祖フィジカル・ツールキット—	塚田浩二	8- 926
2.4 Aniomagic 入門—縫ってつくる電子手芸—	岩崎 修	8- 930
2.5 mbed 入門—60秒で Hello world!—	岡野彰文	8- 934
2.6 レベルアップ! PSoC 入門—あるいは一種の動的再構成プロセッサ—	秋田純一	8- 938
3. クックブッカー—physical×wonderfl で始めるフィジカルコンピューティング—	蛭田 直・秋田純一	8- 942
4. レシピ集		
4.1 テクノ手芸—一起こすと目が光るうさぎを作ろう—	かすやきょうこ・よしだともふみ	8- 950
4.2 パパトロンクス—我が子が喜ぶオリジナル電子メロディを作ろう—	@weed_7777	8- 952
4.3 あから 2010 ペーパークラフト—付録で作る Twitter 連動ガジェット—	橋本 直・園山隆輔	8- 954
【第2部 夏を終わらせたくない人へ贈る熱い思い】		
5. パーソナル・ファブリケーション序論—コミュニティが創る新しいビジネスモデル—	相部範之	8- 958
6. コンピュータの上流と下流をつなぐ電子工作	秋田純一	8- 964
7. デジタル・ファブリケーションから始まる未来のものづくり	久保田晃弘	8- 970
8. 私たちはほぼ何でもつくれるようになる—ファブ・マスター (Fab Master) を目指して—	田中浩也	8- 976
付録: あから 2010 ペーパークラフト		
「東日本大震災 危機発生時の対応について考える」		
0. 編集にあたって	徳田雄洋	9- 1060
1. 固定電話と通信サービス—東日本大震災における初期対応—	小出利一	9- 1062
2. 携帯電話の震災対応	南條善明	9- 1064
3. 通信インフラの応急復旧—迅速なサービス回復に向けて—	河野真之	9- 1066

4. 震災復興インターネット	植原啓介・大江将史	9- 1068
5. ライブストリーミング—ライブストリーミングによる震災発生後の情報配信—	野呂智哉	9- 1070
6. 震災とソーシャルネットワーク	奥村晴彦	9- 1072
7. ポータルサイトの東日本大震災対応—これまでの備えと震災後の対応—	佐藤公彦	9- 1074
8. 震災時のクラウド提供と支援活動	阿部 博	9- 1076
9. 危機に試されるスマートフォンのアプリケーション	脇田 建	9- 1078
10. 震災報道 メディアはいかに伝えたか—放送・新聞・出版—	碓井広義	9- 1080
11. 地方自治体の危機対応と情報技術	徳田雄洋	9- 1082
12. 東日本大震災時の東北大学工学研究科の対応	伊藤彰則・馬場博子・安斎浩一	9- 1084
13. 緊急地震速報・津波警報—防災情報はどこに伝わったか—	鷹野 澄	9- 1086
14. 放射線量測定・放射性物質拡散シミュレーション(独, 仏, 日本)	西崎真也・徳田雄洋	9- 1088
15. 災害復旧支援・原子力事故対策ロボット	奥乃 博	9- 1090

「新しいインターネットがやってくる—基盤編—」

0. 編集にあたって	新 善文・藤崎智宏・新 麗	9- 1093
1. 新しいインターネットのビジョン	新 善文・藤崎智宏	9- 1094
2. 最近のインターネットの仕組み	小川晃通	9- 1096
3. IPv4 アドレス在庫枯渇と IPv6 の普及	前村昌紀	9- 1100
4. IPv6 アプリケーション	廣海緑里	9- 1104
5. Web サービスを IPv6 対応にするには	小山哲志	9- 1108
6. ネットワークシステム構築	北口善明	9- 1112
7. コラム: IPv6 サービス利用時に発生する課題について	藤崎智宏・新 善文	9- 1116

「ソフトウェアパターン—時を超えるソフトウェアの道—」

0. 編集にあたって	鷺崎弘宜	9- 1117
1. ソフトウェアパターン概観	鷺崎弘宜	9- 1119
2. パターンランゲージからソフトウェアパターンへ	江渡浩一郎	9- 1127
3. セキュリティの知識を共有するセキュリティパターン	吉岡信和	9- 1134
コラム: 企業におけるパターン指向ソフトウェア開発の実践	位野木万里	9- 1140
4. これからのみんなのことは、みんなのかたち—パターンランゲージからプロジェクトランゲージへ—	本橋正成・羽生田栄一・懸田 剛	9- 1142
5. パターンランゲージ 3.0—新しい対象 × 新しい使い方 × 新しい作り方—	井庭 崇	9- 1151

「高度 IT 人材育成の軌跡 IT トップガン構想から先導的 IT スペシャリスト育成まで」

0. 編集にあたって	中島秀之	10- 1226
1. 座談会: 高度 IT 人材育成の 10 年	岩野和生・大場みち子・木村伊九夫・重木昭信・大力 修・高柳 浩・田中二郎・安浦寛人・進行: 中島秀之・構成: 田柳恵美子	10- 1228
2. 寄附講座設置による高度 IT 人材育成への取組み	鈴木恵二・今野陽子・奥野 拓	10- 1241
3. 文部科学省における高度 IT 人材育成—先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム—	福島健太郎	10- 1245
4. 筑波大学「高度 IT 人材育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラム」の「これまで」と「これから」	田中二郎・北川博之	10- 1250
5. OJL: 産学連携による新しい人材育成の試み	阿草清滋・小林隆志	10- 1254
6. 産学連携による高度 IT 人材育成に関する九州大学の取組み	福田 晃	10- 1258
7. 高度 IT 人材育成のこれまでの総括と今後求められる人材に向けた政策の方向性について	経済産業省商務情報政策局情報処理振興課	10- 1262
8. IPA における産学連携 IT 人材育成の取組み—一次代を担う高度 IT 人材の継続的な育成に向けて—	大島信幸	10- 1268
9. 高度 IT 人材の資格制度	旭 寛治	10- 1275

「研究会推薦博士論文速報」

編集にあたって	松崎公紀	10- 1288
• A Study on High Performance Data Cube Construction	Dong Jin (金 東)	10- 1290
• A Study on Parallel Holistic Twig Join for XML Query Processing	Imam Machdi	
• Automated Support for Framework-based Software Development	善明晃由	
• Software Product Line Adoption Process for Legacy Embedded Control Systems	吉村健太郎	
• ソフトウェア開発における定量的プロセス管理の実施支援に関する研究	伏田享平	
• A Multi-Core Processor Platform for Open Embedded Systems	井上浩明	
• 超並列細粒度 SIMD 型プロセッサにおける高性能実装に関する研究	中野光臣	
• 攻撃コードの振る舞いの自動解析に関する研究	嶋村 誠	
• デイバングブルな組込みシステムのためのオンライン障害管理	菅谷みどり	
• A Study of High-quality Network Transmission on Computer Clusters	松葉浩也	
• A Study on Robust Subthreshold Circuit Design to Manufacturing and Environmental Variability	更田裕司	
• High-Level Synthesis of LSIs from Large Behavioral Descriptions	安積祐子	
• Formal Approach to Guarantee the Correctness of Compiler Optimization using Temporal Logic	Fang Ling	
• Formal Verification of High-Level Design Based on Control/Data Separation	西原 佑	
• 組込みシステムに適したコンポーネントシステム	安積卓也	

• Localization Protocol for Wireless Multi-hop Networks	竹中友哉	
• Provable Security of Identity Based Encryption and Application to Design of Efficient Schemes	Peng Yang	
• ウェアラブルコンピューティングのための情報提示に関する研究	田中宏平	
• 日常生活に溶け込む遠隔コミュニケーション手法	辻田 暉	
• ウェアラブルコンピューティングのための行動認識技術に関する研究	村尾和哉	
• Graph-Theoretic Approaches to Minimally-Supervised Natural Language Learning	小町 守	
• An Analysis of Non-Task-Oriented Dialogs and a Computational Model of Generating Affective Utterances	徳久良子	
• Statistical Machine Translation Using Large-Scale Lexicon and Deep Syntactic Structures	Xianchao Wu	
• Reflectance Analysis of Layered Surfaces using a Multispectral Image	森本哲郎	
• 行動特徴に基づく人物追跡	杉村大輔	
• Outlier Detection for Robust Parameter Estimation Against Multi-modeled/Structured Data	Ngo Thanh Trung	
• Interactive Information Sharing System using Large 3D Geometric Models	岡本泰英	
• 身体接触をインタフェースに応用した電子楽器システムに関する研究	馬場哲晃	
• Statistical Modeling for Recognizing Singing Voices in Polyphonic Music	藤原弘将	
• Model and Analysis for Effective Contents Distribution	SRIPRASERTSUK Pao	
• 棋譜データに基づく、ゲーム木探索の性能評価	竹内聖悟	
「食とコンピューティング」		
0. 編集にあたって	相澤清晴・井手一郎	11- 1368
1. 安全・安心のための食の情報管理	杉山純一・宇田 渉	11- 1370
2. レシピ・献立検索	高橋哲朗・井手一郎	11- 1376
3. マルチメディア食事記録と画像処理による食事内容解析	相澤清晴・小川 誠	11- 1382
コラム:「ばらばべった」—「食」生活運動型ケータイゲーム(食ゲー)—	白井大祐	11- 1388
4. スマートフォンを用いた「食」と「運動」の日常的記録による健康増進支援サービス	川淵 聡・堀 孝光	11- 1390
5. 食事コミュニケーションの分析と応用—一緒に食べる楽しさを共有できるシステム開発のために—	武川直樹	11- 1397
6. 感覚間相互作用を利用した味覚提示	鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝	11- 1403
「未踏ユースから育ったタレントたち」		
0. 編集にあたって	竹内郁雄	12- 1483
【PART 1 若い未踏クリエイターからのメッセージ】		
1. 人材育成としての未踏ユースの役割	岡野原大輔	12- 1484
2. 野良 OS 開発者の視点	川合秀実	12- 1485
3. 量子計算シミュレータ QCAD の開発	渡辺宙志	12- 1486
4. ネットワーク形成システムとしての未踏	西尾泰和	12- 1487
5. 未踏が育ててくれたセンサデータベース	川島英之	12- 1488
6. 未踏後: 気の向くままに	赤塚大典	12- 1489
7. 未踏ユースを通じてステップアップ	尾藤正人	12- 1490
8. Ruby で広がる世界	笹田耕一	12- 1491
9. アイディアを共有すること	荒川淳平	12- 1492
10. 余は如何にして未踏人となりし乎	高橋一志	12- 1493
11. 未踏とオープンソース	川口耕介	12- 1494
12. 大規模なソーシャルデータから価値を創出する	大澤昇平	12- 1495
13. 発掘し、育成し、つなぐ場所	大島聡史	12- 1496
14. 未踏ユースからの「広がり」	上野康平	12- 1497
15. デザインのためのコンピューティショナル・オリガミ	舘 知宏	12- 1498
16. 未踏ユースクリエイターの「開発観」の例として	上田真史	12- 1499
17. プログラマじゃないから続くコミュニティ	中山心太	12- 1500
18. 分散システムの開発を支援するテストベッド	西川賀樹	12- 1501
19. 自分の欲しいソフトウェアを創る	丹野治門	12- 1502
20. Amberate: Web アプリケーションの脆弱性検出フレームワーク	小菅祐史	12- 1503
21. 未踏から世界的 Computer Graphics 研究へ	梅谷信行	12- 1504
22. アートとテクノロジーのサイクル	落合陽一	12- 1505
23. スタートラインに立つことの価値を知る	堀内公平	12- 1506
24. 仕組みを作る楽しさと難しさ	西田圭介	12- 1507
25. 未踏が繋いだ、学生エンジニアたちの成長物語 —とある未踏コミュニティがシリコンバレーに渡るまで—	井上恭輔・曾川景介	12- 1508
26. 少数精鋭、未踏チームの作り方	久池井淳・登 大遊・伊藤隆朗・栗川洋平	12- 1510
【PART 2 プロジェクトマネージャからも一言】		
1. 未踏ユースの人材に期待するもの	安村通晃	12- 1514
2. 未踏ユースの魅力	後藤真孝	12- 1516
3. 未踏ユースから育ったタレントたち	寛 捷彦	12- 1518
4. 好きこそものの上手なれ	首藤一幸	12- 1520

「情報処理学会推奨修士論文・卒業論文速報」

0. 編集にあたって	佐藤三久・松崎公紀	12- 1537
1. 情報処理学会推奨修士論文速報		12- 1538
2. 情報処理学会推奨卒業論文速報		12- 1544

■新年度・ゴールドデンウィークチュートリアル

「スマートフォンプログラミング～iPhone と Android」

0. 編集にあたって	塚本昌彦	4・5- 514
1. iPhone プログラミング入門	沼田哲史	4・5- 517
2. Android プログラミング入門 Android の概要からプログラミングまで	木島貴志・石丸宗平	4・5- 527

■報告

「2010 年度論文賞の受賞論文紹介」

・選定にあたって	水野忠則	8- 998
・リンクを素早く選択するための方向キーの新しい使い方	前田篤彦	8- 999
・広域センサネットワークの実現に向けて	小西佑治・寺西裕一	8- 1000
・安全で機能制限のない暗号データベースの実現に向けて	吉浦 裕	8- 1001
・ソフトウェア・バグの高精度かつ高効率な検出に向けて	荒堀喜貴	8- 1002
・SELinux を使いやすくする研究	中村雄一	8- 1003
・脳情報処理の理解に向けて：神経細胞モデルによる数理的アプローチ	飯田宗徳・大森敏明・青西 亨・岡田真人	8- 1004
・ジャンル横断情報アクセスを目指して	難波英嗣	8- 1005
・低次キャッシュとプリフェッチ	入江英嗣・本城剛毅・平木 敬	8- 1006
・柔軟な専用回路の開発を目指して	永山 忍	8- 1007
・反射鏡を用いた撮影技術の魅力	向川康博	8- 1008

「2010 年度長尾真記念特別賞紹介」

・選定にあたって	水野忠則	8- 1009
・デジタルとフィジカルの垣根を越えて	越前 功	8- 1010
・確率密度比に基づく新たな機械学習パラダイム	杉山 将	8- 1011
・自作問題から実際問題の解決に向けて	山下直美	8- 1012

「2010 年度喜安記念業績賞紹介」

・選定にあたって	村上篤道	8- 1013
・大規模ネットワーク監視・障害診断技術	福山訓行・野村祐士・安家 武・森永正信・西 哲也	8- 1014
・誤照合率 0% の顔認証技術を目指して	今岡 仁・森下雄介・宮野博義・佐藤 敦	8- 1015
・H.264 映像符号化の実装と普及による豊かな映像社会の実現を目指して	加藤嘉明・坂手寛治・本山信明・猪股英樹・山本好彦	8- 1016
・第 3 世代携帯電話向けの分散型音声認識システムの実用化	加藤恒夫・宇都宮栄二・内藤正樹・内部利明・河井 恒	8- 1017

■解説

マルチコア時代のプログラミング言語「X10」	河内谷清久仁	3- 342
ここまで来たオープンなオフィス文書の世界	清水浩行・飯尾 淳	4・5- 564
渋滞の減少に貢献する道路交通情報の技術	鈴木信雄・林 康博	6- 716
Watson：クイズ番組に挑戦する質問応答システム	金山 博・武田浩一	7- 840
まもなく訪れる C++0x	高橋 晶	7- 858
製品開発へのオープンソース利用の実状 CELL レグザ開発における OSS 適用	駒木亮伯・大崎嗣豊・高山佳文	8- 982
いつでも、「どこ」が正確に、一準天頂衛星初号機『みちびき』によって変わる未来	明神絵里花	8- 990
DNSSEC 解説一 DNS におけるセキュリティ拡張の導入一	三田村健史・佐藤新太	9- 1158
実証実験「つくばチャレンジ」の背後にある取り組みの事例と完走するための自律移動技術	山本健次郎・大久保剛史・小野幸彦・原 祥堯	9- 1166
デジタルサイネージの最新動向	藤本仁志・吉田 浩・椿 泰範・阿良田剛	10- 1280
省メモリのための新たなアルゴリズム設計技法：制限された作業用メモリでアルゴリズムをいかに設計するか（前編）	浅野哲夫	10- 1322
省メモリのための新たなアルゴリズム設計技法：制限された作業用メモリでアルゴリズムをいかに設計するか（後編）	浅野哲夫	11- 1424
制御システムのセキュリティ～制御システムと人間系システムの共存のあり方～	渡辺研司	11- 1434
[デジタルプラクティス連携企画] 標準化が企業を活かす—あるオーディオ研究者から見た光と影—	芹沢昌宏・杉山昭彦	11- 1456
携帯電話を活用した人々の流動解析技術の潮流	関本義秀・Teerayut Horanont・柴崎亮介	12- 1522

■道しるべ

「ロボカップ道しるべ」

小型ロボットリーグ	長坂保典	1- 95
標準プラットフォームリーグ	大森康朝・中川友紀子・野田五十樹	3- 334
レスキューシミュレーションリーグ	鳥海不二夫	4・5- 540
ヒューマノイドリーグの歩み	荻野正樹	7- 850
中型リーグ	松元明弘・高橋泰岳・武村泰範	11- 1410

■連載

「研究会推薦博士論文速報」

Parallel Programming with Tree Skeletons	中村亮太	1- 121
Personalized Recommendations for Ubiquitous Learning Environments : Decision Support System Using Intelligent Embedded Agents	モウシル・エルビショウティ	1- 122
安全性と移動性を両立する柔軟なグループ通信アーキテクチャに関する研究	鈴木秀和	1- 123
アドホックネットワークにおける位置依存情報共有のための複製配置に関する研究	土田 元	2- 222
モバイルアドホックネットワークのルーティングに関する研究	油田健太郎	2- 223
スマートアンテナを有効利用する通信システムの構築に関する研究	渡辺正浩	2- 224
実装を考慮した暗号解析手法に関する研究	武仲正彦	3- 374
Fair Mobile Commerce Infrastructure	寺田雅之	3- 375
ユビキタスネットワークにおける知的エージェントの研究	長 健太	4•5- 582
Exploiting Regularities in Natural Acoustical Scenes for Monaural Audio Signal Estimation, Decomposition, Restoration and Modification	ルルー・ジョンソン	4•5- 583
多様な歌唱様式を予測・説明する歌声音響信号の分析合成モデルとその応用に関する研究	大石康智	6- 728
AND-OR Tree Search Algorithms for Domains with Uniform Branching Factors	美添一樹	6- 729
「古機巡礼 / 二進伝心」		
オールラヒストリー：喜安善市氏インタビュー	鵜飼直哉・宇田 理・山田昭彦	1- 114
情報処理技術遺産「微分解析機」	和田英一	3- 368
平成 22 年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式	旭 寛治	6- 724
オールラヒストリー 穂坂 衛氏インタビュー	鵜飼直哉・宇田 理・喜多千草・山田昭彦	9- 1174
オールラヒストリー 西野博二氏インタビュー	鵜飼直哉・浦城恒雄・松永俊雄・山田昭彦	12- 1554
「プログラミング, 何をどう教えているか」		
Scratch を用いた授業実践報告	伊藤一成	1- 111
実践プロジェクト形式によるソフトウェア工学教育	高田喜朗	2- 210
Processing によるプログラミング教育	菊池 誠	2- 213
当社の新入社員・若手社員教育の概要と今後の課題	立川京市	3- 358
企業の教育現場からの報告—頭がいいのに「分かる」ことができない新卒たち	榎島和紀	3- 361
ゲーム開発現場におけるプログラマのあり方	市川宗孝	3- 365

■教育コーナー

「べた語義」

コラム：闇に住む民は光を見たい	高岡詠子	4•5- 553
ご存知でしたか?	寛 捷彦	4•5- 554
高校教科「情報」のこれまでとこれから（前）	久野 靖	4•5- 559
コラム：あなたのアイデアを授業にしませんか?	辰己丈夫	6- 735
工学系学科でのプログラミング入門教育—ドリトルを利用して—	兼宗 進	6- 736
高校教科「情報」のこれまでとこれから（後）	久野 靖	6- 740
コラム：お手伝いいただけますよね?	久野 靖	7- 863
文系主体の地方私立大学での情報科教職課程と情報科教育法	和田 勉	7- 864
高等学校教科「情報」教員養成の実際	西端律子	7- 868
コラム：専門教育に向けたプログラミング入門教育への期待	兼宗 進	8- 1019
シラバスに基づく理工系情報学科のカリキュラム調査	疋田輝雄・石畑 清	8- 1020
大学におけるスマートフォンの活用事例	伊藤一成	8- 1026
コラム：ジグソーパズルのピースを組み合わせると	掛下哲郎	9- 1181
高度情報処理技術者の基礎力育成を目指した学部教育	伊藤克巨・荒川 傑・善甫康成・藤田 悟	9- 1182
京大における Lisp を使ったプログラミング教育	湯浅太一・奥乃 博・尾形哲也	9- 1191
コラム：教育方法の研究会?	寛 捷彦	10- 1335
東京大学における一般情報教育	玉井哲雄	10- 1336
北海道大学における全学教育としての情報教育	布施 泉・岡部成玄	10- 1341
コラム：教育のコンテスト“ISECON”を知っていますか?	神沼靖子	11- 1441
産業技術系専門職大学院の認証評価：大学評価制度はどうあるべきか?	掛下哲郎・寛 捷彦・阿草清滋	11- 1442
障害者職業訓練校の情報教育—情報処理系 OA システムコースの取り組み—	間辺広樹	11- 1447
コラム：プログラミングは楽しいですか?	角田博保	12- 1561
JABEE を通じた大学教育の質的保証（前編）：大学教育改革とアクレディテーション	牛島和夫	12- 1562
創造的で効果的な技術士 CPD（継続研鑽）に向けて	黒澤兵夫	12- 1567
日本技術士会が提供する初期専門能力開発：修習技術者支援実行委員会の活動をととして	小林 進	12- 1573

■コラム

「"I" 見聞録」

IEEE ICC 2010	清水敬司	1- 124
---------------------	------	--------

ICFP 2010	稲葉一浩	1- 128
CSS2010/MWS2010	猪俣敦夫	2- 216
PRIMA2010に参加して：ステアリング委員の視点	伊藤孝行	3- 376
MDD ロボットチャレンジ 2010	二上貴夫	4•5- 572
ITU-T SG17 会合	門林雄基	4•5- 577
JANOG27 ミーティング	北口善明	6- 730
Web インテリジェンスとインタラクション研究会	土方嘉徳	7- 874
第1回 NII 湘南会議：「グラフィカルゴリズムと組合せ最適化」	神山直之・垣村尚徳	7- 879
情報セキュリティ国際会議 IWSEC 2010：日本発の国際会議を開催すること	菊池浩明	8- 1030
IPv6 普及推進と IPv6 Summit	藤崎智宏	9- 1196
第21回世界コンピュータ将棋選手権報告	伊藤毅志	10- 1346
ICC 2011 と Future Network & Mobile Summit 2011	井上真杉	11- 1452
コンピュータの歴史展—手回し計算機からパソコン，そしてスーパーコンピュータ—	西村斉時	12- 1532

■シニアコラム

「IT 好き放題」

イノベーションを伸ばす社会	戸田 巖	1- 131
Past and Future	村岡洋一	2- 221
日本製 IT イノベーターの出現を期待して	相澤正俊	3- 357
若者が内向きなのではない	益田隆司	4•5- 471
科学者・技術者の社会的責任	稲垣康善	6- 723
日本語文章推敲支援ツールの今	牛島和夫	7- 773
熟達技術者の博士学位取得を目指した支援活動の試み	小泉寿男	8- 1018
IT と節電	当麻喜弘	9- 1157
新生日本の復活とベンチャー育成	野口正一	10- 1321
学会は誰のものか	林 弘	11- 1409
頑丈なシステムからしなやかなシステムへ—2011年3月の大災害に想う—	渡部 和	12- 1531

■学会活動報告

国際会議 SAINT の運営—SAINT 2011 の開催に向けて—	中村素典	2- 225
IFIP —情報処理国際連合—近況報告	齊藤忠夫	2- 231
創立 50 周年記念事業：実施概要報告／創立 50 周年記念式典実施報告／創立 50 周年記念論文表彰（概要）		2- 260
情報技術の国際標準化と日本の対応—2010 年度の ISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動—	情報規格調査会	9- 1198

■トピックス

第73回全国大会のご案内		2- 241
--------------------	--	--------

■会議レポート

DICOMO2011 シンポジウム開催報告		10- 1350
-----------------------------	--	----------

■追悼

名誉会員 西野博二博士を偲ぶ	弓場敏嗣	1- 133
名誉会員 Maurice Wilkes 博士を偲ぶ	和田英一	2- 265

■ Preface

"column"

Looking towards Next 50 Years - Planting a Tree in the Heart -	Norio SHIRATORI	1
Rakugo and IT	Sanshi KATSURA	2
Thinking of Information Processing	Shigeki HOSOKAWA	3
Senryu and Twitter	Rie YASUMI	4-5
TOMOSHIBI - When an Earthquake Occurs -	Sunplaza Nakano Kun	6
How to Swim in the Sea of Informations	Yukiko MOTOMURA	7
A Distance behind the Times	Toshizou NANBA	8
Deployment	Jun MURAI	9
Movement of Goods and Information	Katsuhiro NISHINARI	10
Mukaiya Club's Challenge	Minoru MUKAIYA	11
The Two Worlds of Software	Kumiyo NAKAKOJI	12

Information Technology as a Driver of Reconstruction and Regrowth in Japan	Kazuo FURUKAWA	7- 762
--	----------------	--------

Messages after the 3.11 Disaster		6- 606
Report of Interaction 2011 : Experience in The Tohoku Earthquake	Yasuyuki SUMI	6- 614
A Report from Earthquake Affected Area : Towards Recovery from Disasters - 50 Days after the Great Earthquake	Norio SHIRATORI	7- 765
Message after the 3.11 Disaster		7- 768
A Message from Counselor for Cabinet Secretariat	Yasushi HIBINO	8- 904
Let Us Collect and Preserve All the Records of the Great Disaster	Makoto NAGAO	9- 1056

■ Round-Table Talk

Opinions by Eight Presidents from Informatics	Naoki ASADA, Setsuo ARIKAWA, Yukihiro ITO, Takuya KATAYAMA, Hidefumi KOBATAKE, Katsuhiko SHIRAI, Nobuki TOKURA, Hideyuki NAKASHIMA and Emiko TAYANAGI	1- 2
---	---	------

■ Special Features

"ICT : Producing the Future Society"

Foreword	Tadanori MIZUNO and Tsuyoshi MOTEGI	1- 12
Vehicles Networking - Towards a Safe, Comfortable and Ecological Vehicles Society -	Sadao OBANA and Tomoyuki YASHIRO	1- 14
Connecting People, Things, and System through Mobile ICT - Always Support Platform being Aware of Situation	Atsushi TAKESHITA, Ken OHTA and Hirozumi YAMAGUCHI	1- 19
Miniature Gardens of Internet Technologies - Toward Reliable Information Infrastructure based on Verified Network Technologies -	Shinsuke MIWA, Toshiyuki MIYACHI and Yusuke DOI	1- 24
Realizing Remote Embodied Communication Space - Understanding Mediated Communication of Multiple Participants -	Hideaki KUZUOKA	1- 28
Understanding of Human Activity using Large Scale Database and Wearable Sensor - Towards the Next Generation of Thoughtful Wellness System -	Nobuo KAWAGUCHI	1- 32
Future Style of Smart Phone with Security Technology - Smart Adaptable Mobile Terminal for Any Situation -	Keisuke TAKEMORI	1- 37
Opening up New Services by Urban Sensing - Realization of Near-future Services Integrating Sensor and Cyber Information	Takahiro HARA	1- 41
Smartly Supporting User's Behavior - A Service Platform Reading User's Intention	Masako SHINOHARA	1- 46
ICT Enriches Our Learning and Education - For the Birth of the Electronic Media that Produce the Wisdom and Expertise -	Satoshi ICHIMURA	1- 48
Toward the Encourage Mechanism based on the Power of Community - Creation of Various, Good Quality Contents by Everyone's Power -	Takashi YOSHINO	1- 50
Enhancing Japanese Manufacturing by IC Tags - Various Tags and Readers Change the Manufacturing Industry -	Toshihisa KAMEMARU	1- 52
Intuitive Short-Range Wireless Communication - Toward Communication Technologies Integrated with the Real World -	Shigeaki TAGASHIRA and Yutaka ARAKAWA	1- 54
Eliminating Power Cords - Wireless Power Transfer and Energy Harvesting -	Yoshihiro KAWAHARA	1- 56
Realizing Green Cloud Computing - Toward Ultimate Power Efficiency with Super Embedded Systems Technology -	Shingo TANAKA	1- 58
Producing Energy by Internet Technologies - From QoS Control to Energy Control -	Youichi KOYAMA and Akihiro OKAMOTO	1- 60

Evoked Real-Time Sensation by Streaming Delivery - Future-Oriented Contents Delivery Service by Broadcast Computing -	Tomoki YOSHIHISA and Yusuke GOTOH	1- 62
Offering Users to Feel Anshin, the Sense of Safety and Security - A Questionnaire Survey on the Sense of Safety of Truck Drivers -	Yasuhiro FUJIHARA and Takayuki NAGAYOSHI	1- 64
"Development for Collaborative Integration of Speech and Image Recognition"		
Foreword	Yasuo ARIKI and Akitoshi OKUMURA	1- 67
Audio and Video Structuring for Information Retrieval	Takafumi KOSHINAKA, Ryoma OAMI, Itaru HOSOMI and Hitoshi IMAOKA	1- 71
Spoken Dialog System with Image Information	Kentaro KAYAMA	1- 79
Audio-Visual Speech Recognition	Yasuo ARIKI and Yuto KOMAI	1- 87
"Way to Victory of AKARA2010"		
Foreword	Hitoshi MATSUBARA	2- 152
The Preparation for the Match, and the Documentary of the Day	Takeshi ITO	2- 154
An Outline of the System Design and Operation of Akara 2010	Kunihito HOKI, Tomoyuki KANEKO, Daisaku YOKOYAMA, Takuya OBATA and Hiroshi YAMASHITA	2- 162
Tactical Countermeasures against Shimizu Woman Ousho and Opening Tactics	Tsuyoshi HASHIMOTO	2- 170
Ichiyo Shimizu vs Akara 2010 : Reviewing the Computers' Thinking Processes	Yoshimasa TSURUOKA, Tomoyuki KANEKO, Hiroshi YAMASHITA, Kunihito HOKI	2- 175
On My Game with Akara2010	Ichiyo SHIMIZU	2- 181
On Game between Ms. Shimizu and Akara2010	Daisuke NAKAGAWA	2- 183
Professional Comments on Game between Ms. Shimizu and Akara2010	Yasumitsu SATOH	2- 185
Computer Shogi Committee - to Win Toplevel Professional Shogi Players : How It Was Organized and Accomplished the Mission	Hideyuki NAKASHIMA	2- 188
"Quick Report of Undergraduate and Master's Theses Recommended by IPSJ"		
Foreword	Shuichi SAKAI and Zhenjiang HU	2- 191
Quick Report of Undergraduate Theses Recommended by IPSJ		2- 192
Quick Report of Master's Theses Recommended by IPSJ		2- 202
"Linked Data – The Emerging Cloud of Data –"		
Foreword	Shinichi NAGANO and Tatsuya HAGINO	3- 282
Linked Data - The Story So Far	Christian BIZER, Tom HEATH, Tim BERNERS-LEE and translated by Tatsuya HAGINO	3- 284
Linked Data and Media : The Reason Why Media Industry should Use 'Linked Data'	Nobuyuki OTOMORI and Masanori YUMOTO	3- 293
Knowledge Circulation to Support Future Drug Development	Itaru HOSOMI, Shinichi NAGANO and Masao OKABE	3- 300
Open Government and Open Data	Hiroyuki SATO, Kyoji IIDUKA and Kazue MISHIMA	3- 309
Linked Data and Geospatial Information	Noboru SHIMIZU, Kazue MISHIMA, Syohei YAMAGUCHI, Hiroshi TSUDA and Terunobu KUME	3- 318
The State-of-the-art and Challenges of Linked Data in Japan	Hideaki TAKEDA	3- 326
"Technical Study Session Map in Japan - Join a Live Session of Engineers! -"		
Foreword	Hideki TANAKA	4•5- 398
Technical Study Session is Too Hot!	Hirota YOSHIOKA	4•5- 400
Back Side of Event Support Tool ATND	Yusuke KAWASAKI and Kenji KOBAYASHI	4•5- 407
What is Created by Study Session? - From Company Help Study Session	Akihiro TSUKUI, Kazuhiro ARAI, Koji SATO and writing by Kazuhiro SOGA	4•5- 413
How to Make a Study Session	Shinjiro WATANABE and Masanori HASHIMOTO	4•5- 420
Technical Study Session Map in Japan - Message from Organizers		4•5- 425
"Advance of Virtual Reality and Interactive Media by Their Interaction"		
Foreword	Kunihito NISHIMURA and Koichi TAKAGI	4•5- 473
How to Create the Future - Ars Electronica as a Creative Platform	Hideaki OGAWA and Christopher LINDINGER	4•5- 474
Digital Public Art in HANEDA AIRPORT "AIR HARBOR" Exhibition	Kunihito NISHIMURA	4•5- 481
Digital Museum	Michitaka HIROSE	4•5- 492
Digital Archives and Virtual Reality	Makoto ANDO and Tomoaki SAITO	4•5- 498
Interactive Exhibition Experience & Design that Creates Communications	Masahiro NAKAGAWA and Kenji OGINO	4•5- 506
"Time and Computer"		
Foreword	Masahiko TSUKAMOTO	6- 618
Robot and Time	Hideaki SENA	6- 620
Time of Geminoid	Hiroshi ISHIGURO	6- 622
Time and Shogi	Yoshiharu HABU	6- 623
Computer Shogi and Time	Hitoshi MATSUBARA	6- 624
Time for AI on Digital Games	Youichiro MIYAKE	6- 625
Situated Expression of Time	Hideyuki NAKASHIMA	6- 627
Time Divergence/A View of Life as a Game Record	Takuo AOYAMA	6- 629

Prenset=Potential Resonance : Time Implemented in a Swarm	Yukio-Pegio GUNJI	6- 631
Planck Time and Planck Length, The Glid of the Space-time	Jun FUKUE	6- 633
Quantum Computing and Time Machine	Masami HAGIYA	6- 635
Times in Biology	Kazuhiko KUME	6- 637
Hearing and Time	Makio KASHINO	6- 639
A Sociology of Time in the Age of Internet and Cellular Phone	Shoji TSUJI	6- 641
To Realize a Good Work - Life Balance - Time * IT Tools	Yoshie KOMURO	6- 643
Time Flies like a What?	Toshiyuki MASUI	6- 645
Time in Digital Stationary	Masayuki TAKABATAKE	6- 647
Lifelog - As a Method of Making Lifetime Recallable -	Masayoshi OHASHI	6- 648
Time for Software	Etsuya SHIBAYAMA	6- 650
Software Development and Time	Makoto SAKAI	6- 652
Y2K, 2036	Shinichi URAKAWA	6- 654
A Dream on Times in Algotland	Hiro ITO	6- 656
Thoughts about Information System to Change with Growth of the Society	Keiji YAMADA	6- 658
Mansion of the Time -Time and Communication -	Norio SHIRATORI	6- 660
"Data Storage Technologies for the Cloud"		
Foreword	Haruo YOKOTA and Toshiyuki AMAGASA	6- 662
The Trend in Standardization of Cloud Storage	Hiroshi YOSHIDA	6- 665
Evernote, a Universal Cloud-based Database	Masatake E. HORI	6- 672
ROMA : Overview and Use Case	Muga NISHIZAWA, Junji TORII and Jun TAKIZAWA	6- 678
Current Trends and Techniques on Data Cloud	Jun MIYAZAKI and Makoto ONIZUKA	6- 684
Technology Trends of Storage Systems toward Power-aware Data Center in Cloud Age	Yoshihiro HASEBE, Dai KOBAYASHI and Masaki KAN	6- 693
Storage Configuration with iSCSI and FCoE - Evolution of Storage Network -	Masato OGUCHI	6- 700
Utilization and Privacy Preservation of Personal Information with Cloud Storage	Jun SAKUMA and Kasumi TAKAHASHI	6- 706
"The End of Analogue Television Broadcasts"		
Foreword	Osamu YAMADA and Toru HASEGAWA	7- 774
From Hi-Vision to Digital Hi-Vision	Mitsutoshi HATORI	7- 777
The Approach to Digital Terrestrial Television Broadcasting	Eiichi TSUJI	7- 786
The Research and Development of Terrestrial Digital Broadcasting and its International Penetration Activities ..	Osamu YAMADA	7- 792
ISDB-Tmm Technologies and Services	Akira YAMADA, Hosei MATSUOKA, Junichiro HAGIWARA and Ryo KITAHARA	7- 800
Mobile Multimedia Broadcasting in VHF Band	Toru KURODA	7- 805
New ITS Applications using 700MHz Band	Tomoyuki YASHIRO	7- 811
How will Digital Television be Changed? - Evolution of Television by Communication Functions -	Hisakazu KATOH	7- 819
Technology and Service Trends of Digital Cable Television	Satoshi MIYAJI	7- 825
IPTV Service as a Novel Media	Jay KISHIGAMI	7- 833
"The Physical Computing for Summer Handicrafts"		
Foreword	Kazushi MUKAIYAMA	8- 912
Physical Computing Primer	Shigeru KOBAYASHI	8- 914
The Introduction to Gainer - The I/O Interface that can be Easily Realized -	Takanori ENDO	8- 918
The Microcontroller Board that has 150,000 Sale Results	So KANNO	8- 922
An Introduction to Phidgets, The Pioneer Toolkit for Rapid Wiring	Koji TSUKADA	8- 926
Beginning e-textiles with Aniomagic	Osamu IWASAKI	8- 930
An Introduction to the mbed	Akifumi OKANO	8- 934
Introduction to Advanced PSoC - A Kind of Reconfigurable Processor	Junichi AKITA	8- 938
Cookbook for Physical Computing with physical × wonderfl	Sunao HIRUTA and Junichi AKITA	8- 942
Techno-Shugei - The Rabbit that has Flashing Eyes -	Kyoko KASUYA and Tomofumi YOSHIDA	8- 950
PAPATRONICS Let's Make a Electric Musical Box for Your Child	@weed_7777	8- 952
Akara 2010 Paper Craft - Making a Twitter Gadget	Sunao HASHIMOTO and Takasuke SONOYAMA	8- 954
Introduction of Personal Fabrication : A New Business Model Generated from the Community	Noriyuki AIBE	8- 958
Electronics Craft to Combine Two Computer Worlds	Junichi AKITA	8- 964
Future of Manufacturing to Begin from Digital Fabrication	Akihiro KUBOTA	8- 970
We can Make (Almost) Anything	Hiroya TANAKA	8- 976
"Crisis Responses to the Great East Japan Earthquake"		
Foreword	Takehiro TOKUDA	9- 1060
Fixed Telephone Network and Communication Service Primary Action for East Japan Great Disaster	Toshikazu KOIDE	9- 1062
Mobile Phone Earthquake Response	Yoshiaki NANJO	9- 1064
Emergency Restoration of Communications Infrastructure - Towards Rapid Services Recovery -	Masashi KAWANO	9- 1066
Post Disaster Recovery Internet	Keisuke UEHARA and Masafumi OE	9- 1068
Live Streaming - Information Distribution after the Earthquake by Live Streaming -	Tomoya NORO	9- 1070

Earthquake and Social Networks	Haruhiko OKUMURA	9- 1072
Web Portal Action for East Japan Earthquake	Kimihiko SATO	9- 1074
Cloud Resource Providing and Assistance Program in Disaster	Hiroshi ABE	9- 1076
Smartphone Applications at the Time of Crisis	Ken WAKITA	9- 1078
How Did Media Report The Earthquake? - Broadcasting, Newspaper, and Publication -	Hiroyoshi USUI	9- 1080
Local Government Crisis Response and Information Technologies	Takehiro TOKUDA	9- 1082
Emergency Activity for Information Systems of the Graduate School of Engineering, Tohoku University, under the Great East Japan Earthquake	Akinori ITO, Hiroko BANDA and Koichi ANZAI	9- 1084
Earthquake Early Warnings and Tsunami Warnings ; How was Disaster Prevention Information Accepted?	Kiyoshi TAKANO	9- 1086
Radiation Dosimetry and Simulation of Radioactive Cloud	Shin-ya NISHIZAKI and Takehiro TOKUDA	9- 1088
Robots for Post-disaster Recover and Reconstruction and for Nuclear Power Plant Accidents	Hiroshi G. OKUNO	9- 1090
"Modern Internet is coming to Our Life 'Episode 1 : Infrastructure'"		
Foreword	Yoshifumi ATARASHI, Tomohiro FUJISAKI and Ray ATARASHI	9- 1093
The Vision of Modern Internet	Yoshifumi ATARASHI and Tomohiro FUJISAKI	9- 1094
Brief Overview of the Internet	Akimichi OGAWA	9- 1096
IPv4 Address Exhaustion and the Diffusion of IPv6	Akinori MAEMURA	9- 1100
IPv6 Application	Ruri HIROMI	9- 1104
How to Support IPv6 on Your Web Services	Tetsuji KOYAMA	9- 1108
Network Systems Construction	Yoshiaki KITAGUCHI	9- 1112
Issues in Implementing IPv6 Network Services	Tomohiro FUJISAKI and Yoshifumi ATARASHI	9- 1116
"Software Patterns - The Timeless Way of Software -"		
Foreword	Hironori WASHIZAKI	9- 1117
Software Patterns Overview	Hironori WASHIZAKI	9- 1119
From Pattern Languages to Software Patterns	Koichiro ETO	9- 1127
Specification of Security Knowledge : Security Patterns	Nobukazu YOSHIOKA	9- 1134
Industrial Practices for Pattern Oriented Software Development	Mari INOKI	9- 1140
Introduction to Pattern Language to Project Language	Masanari MOTOHASHI, Eiiti HANYUDA and Takeshi KAKEDA	9- 1142
Pattern Language 3.0 : New Objects, Uses, and Making Processes	Takashi IBA	9- 1151
"The Track of Advanced IT Talent Development from IT Top Gun Initiative to Leading IT Specialist Training Program"		
Foreword	Hideyuki NAKASHIMA	10- 1226
Ten Years of Advanced IT Talent Development	Kazuo IWANO, Michiko OBA, Ikuo KIMURA, Akinobu SHIGEKI, Osamu DAIRIKI, Hiroshi TAKAYANAGI, Jiro TANAKA, Hiroto YASUURA, Hideyuki NAKASHIMA and Emiko TAYANAGI	10- 1228
Training Courses for Advanced IT Engineers based on Endowed Courses in Universities	Keiji SUZUKI, Yohko KONNO and Taku OKUNO	10- 1241
Advanced IT Specialist Training Programs Promoted by the MEXT "Leading IT Specialist Training Promotion Program"	Kentaro FUKUSHIMA	10- 1245
Past, Present and Future of IT Specialist Program at University of Tsukuba	Jiro TANAKA and Hiroyuki KITAGAWA	10- 1250
OJL : A New Education Scheme by Collaboration of Academia and Industry	Kiyoshi AGUSA and Takashi KOBAYASHI	10- 1254
An Approach to Foster Highly Skilled IT Personnel through Large Scale Business-academia Collaboration in Kyushu University	Akira FUKUDA	10- 1258
Review and the Future Direction of Policy on Advanced IT Talent Development	Ministry of Economy, Trade and Industry	10- 1262
IPA's Promotion for Advanced IT Talent Development through Industrial -Academic Collaboration - Towards Continuous Cultivating Future IT Leaders -	Nobuyuki OHSHIMA	10- 1268
Certification of IT Professionals	Hiroharu ASAHI	10- 1275
"Quick Report on Doctoral Theses Recommended by IPSJ SIGs"		
Foreword	Kiminori MATSUZAKI	10- 1288
"Computing for Food"		
Foreword	Kiyoharu AIZAWA and Ichiro IDE	11- 1368
Information Management for Food Safety and Reliability	Junichi SUGIYAMA and Wataru UDA	11- 1370
Recipe / Menu Search	Tetsuro TAKAHASHI and Ichiro IDE	11- 1376
Multimedia Food Record for Dietary Assessment by Image Processing	Kiyoharu AIZAWA and Makoto OGAWA	11- 1382
Parapopetta - Introducing a Mobile Phone Game Linked with an Eating Habits -	Daisuke SHIRAI	11- 1388
A Cloud-based Mobile Service to Estimate Calorie Consumption by Analyzing Daily Foodintake and Walking Levels	Satoru KAWABUCHI and Takamitsu HORI	11- 1390
Analysis of Communicative Behaviors at Dining Tables - Towards Systems that Share Joyfulness of Eating Together -	Naoki MUKAWA	11- 1397
Gustatory Display Based on Cross-Modal Illusion	Takuji NARUMI, Tomohiro TANIKAWA and Michitaka HIROSE	11- 1403
"IT Talents Who Sprang Out of the Mitoh-Youth"		
Foreword	Ikuo TAKEUCHI	12- 1483
PART 1		
Mitoh Youth as Human Resources Development	Daisuke OKANOHARA	12- 1484

To Developers of Minor Operating System	Hidemi KAWAI	12- 1485
Development of Quantum Computer Simulator QCAD	HIroshi WATANABE	12- 1486
Mitoh as a Networking System	Hirokazu NISHIO	12- 1487
Sensor Database Groomed by Mitoh	Hideyuki KAWASHIMA	12- 1488
After Mitoh : Blow with the Wind	Daisuke AKATSUKA	12- 1489
Step Up through Mitoh Youth	Masato BITO	12- 1490
Spreading World with Ruby	Koichi SASADA	12- 1491
Sharing Ideas	Jumpei ARAKAWA	12- 1492
How I Became a Mitoh-jin	Kazushi TAKAHASHI	12- 1493
The Mitoh Program and Open-Source	Kohsuke KAWAGUCHI	12- 1494
Generating Value from Large Social Network	Shohei OHSAWA	12- 1495
Field for Exploration, Growing, and Connection	Satoshi OHSHIMA	12- 1496
Myself after the Mitoh Program	Kouhei UENO	12- 1497
Computational Origami for Design	Tomohiro TACHI	12- 1498
An Example of Mitoh Creator's View of Development Works	Masafumi UEDA	12- 1499
I am not a Programmer, Therefore the Community Continues	Shinta NAKAYAMA	12- 1500
Test Bed for Effective Distributed Systems Development	Yoshiki NISHIKAWA	12- 1501
I Produce Software that I Want	Haruto TANNO	12- 1502
Amberate : A Framework for Web Application Security Scanners	Yuji KOSUGA	12- 1503
From ESP to International Computer Graphics Research	Nobuyuki UMETANI	12- 1504
Cycle of Art and Technology	Yoichi OCHIAI	12- 1505
The Value of Standing at the Start Line	Kohei HORIUCHI	12- 1506
Starting My Own Business	Keisuke NISHIDA	12- 1507
Growth Story of "Mitoh" Student Creators	Kyosuke INOUE and Keisuke SOGAWA	12- 1508
Elite Corps : The Team Building	Jun KUCHII, Daiyuu NOBORI, Takao ITOH and Yohei KURIKAWA	12- 1510
PART 2		
What I Expect for the Human Resources of Mitoh	Michiaki YASUMURA	12- 1514
Attraction of the IPA Mitoh Youth Program	Masataka GOTO	12- 1516
Talented Youths Met in the IPA Mitoh Projects	Katsuhiko KAKEHI	12- 1518
We Do Best the Things We Enjoy	Kazuyuki SHUDO	12- 1520
"Quick Report of Masters' and Bachelors' Theses Recommended by IPSJ"		
Foreword	Mitsuhisa SATO and Kiminori MATSUZAKI	12- 1537
Quick Report of Masters' Theses Recommended by IPSJ		12- 1538
Quick Report of Bachelors' Theses Recommended by IPSJ		12- 1544
■ Tutorials		
"Smartphone Programming - iPhone and Android"		
Foreword	Masahiko TSUKAMOTO	4•5- 514
Introduction to iPhone Programming	Satoshi NUMATA	4•5- 517
Introcection to Android Programming	Takashi KISHIMA and Sohei ISHIMARU	4•5- 527
■ Reports		
"The 2010 IPSJ Outstanding Paper Award"		
Foreword	Tadanori MIZUNO	8- 998
Expanding the Usage of Direction Keys for Rapidly Selecting Hyperlinks	Atsuhiko MAEDA	8- 999
Toward Realization of a Wide - Area Sensor Network	Yuji KONISHI and Yuuichi TERANISHI	8- 1000
Toward Secure Encrypted Database without Functional Limitation	Hiroshi YOSHIURA	8- 1001
Towards Precise and Efficient Detection of Software Bugs	Yoshitaka ARAHORI	8- 1002
Activity of Simplifying SELinux Configuration	Yuichi NAKAMURA	8- 1003
Toward Understanding Information Processing in the Brain : Mathematical Approach by Neural Models	Munenori IIDA, Toshiaki OMORI, Toru AONISHI and Masato OKADA	8- 1004
Towards Cross-genre Information Access	Hidetsugu NANBA	8- 1005
Prefetching for Lower Level Caches	Hidetsugu IRIE, Goki HONJO and Kei HIRAKI	8- 1006
Research for Development of Flexible Dedicated Circuits	Shinobu NAGAYAMA	8- 1007
Attractive Imaging Technique Using Reflectors	Yasuhiro MUKAIGAWA	8- 1008
"The 2010 IPSJ Nagao Special Researcher Award"		
Foreword	Tadanori MIZUNO	8- 1009
Beyond Gaps between Digital and Physical	Isao ECHIZEN	8- 1010
A Novel Paradigm of Machine Learning based on Probability Density Ratios	Masashi SUGIYAMA	8- 1011
Future ICT that Solves Social Issues	Naomi YAMASHITA	8- 1012

"The 2010 IPSJ Kiyasu Special Industrial Achievement Award"

Foreword	Tokumichi MURAKAMI	8- 1013
Technologies for Monitoring and Failure diagnosis of Large-scale Networks Noriyuki FUKUYAMA, Yuji NOMURA, Takeshi YASUIE, Masanobu MORINAGA and Tetsuya NISHI		8- 1014
Toward Face Recognition Technology with Zero Error Rate Hitoshi IMAOKA, Yusuke MORISHITA, Hiroyoshi MIYANO and Atsushi SATO		8- 1015
For the Realization of High-quality Video Service based on H.264 Coding Technology Yoshiaki KATO, Hiroharu SAKATE, Nobuaki MOTOYAMA, Hideki INOMATA and Yoshihiko YAMAMOTO		8- 1016
Commercialization of Distributed Speech Recognition System on 3rd Generation Cellular Phones Tsuneo KATO, Eiji UTSUNOMIYA, Masaki NAITO, Toshiaki UCHIBE and Hisashi KAWAI		8- 1017

■ Articles

X10 : A Programming Language for Multicore Era	Kiyokuni KAWACHIYA	3- 342
The World of Open-standardized Data for Office Suite	Hiroyuki SHIMIZU and Jun IIO	4•5- 564
Road Traffic Information Technology for Reducing Traffic Jam	Nobuo SUZUKI and Yasuhiro HAYASHI	6- 716
Watson : A Question-answering System for a TV Quiz Challenge	Hiroshi KANAYAMA and Kohichi TAKEDA	7- 840
Soon-to-be-available C++0x	Akira TAKAHASHI	7- 858
Adaptation of OpenSource Software to TV Set	Akinori KOMAKI, Tsugutoyo OSAKI and Yoshifumi TAKAYAMA	8- 982
Precisely Know Your Location Anywhere, Anytime. - Future Improvement by the Michibiki, First Quazi - Zenith Satellite - Erika MYOJIN		8- 990
Brief Introduction to DNSSEC - Security Extension for DNS Operators -	Takeshi MITAMURA and Shinta SATO	9- 1158
Examples of Activities in the Background of the Field Test "Tsukuba Challenge" and Autonomous Mobile Technologies to Finish the Test Kenjiro YAMAMOTO, Tsuyoshi OKUBO, Yukihiko ONO and Yoshitaka HARA		9- 1166
The Latest Trend of Digital Signage	Hitoshi FUJIMOTO, Hiroshi YOSHIDA, Yasunori TSUBAKI and Tsuyoshi ARATA	10- 1280
New Paradigms for Designing Memory- Constrained Algorithms : How to Design Algorithms using Limited Work Space (1) Tetsuo ASANO		10- 1322
New Paradigms for Designing Memory- Constrained Algorithms : How to Design Algorithms using Limited Work Space (2) Tetsuo ASANO		11- 1424
Security Management for Industrial Control Systems	Kenji WATANABE	11- 1434
Standardization Activities Vitalize Enterprises - Lights and Shadows from a Viewpoint of Audio Researchers Masahiro SERIZAWA and Akihiko SUGIYAMA		11- 1456
Trend of People Flow Analysis Technology Using Mobile Phone Yoshihide SEKIMOTO, Teerayut HORANONT and Ryosuke SHIBASAKI		12- 1522

■ Information Resources

"Trails of RoboCup - Chart toward 2050 -"

Small Size Robot League	Yasunori NAGASAKA	1- 95
RoboCup Soccer Standard Platform League	Yasutomo OMORI, Yukiko NAKAGAWA and Itsuki NODA	3- 334
Welcome to Robocup Rescue Simulation League	Fujio TORIUMI	4•5- 540
Humanoid League	Masaki OGINO	7- 850
Middle Size League	Akihiro MATSUMOTO, Yasutake TAKAHASHI and Yasunori TAKEMURA	11- 1410

■ Series

"Quick Report on Doctoral Theses Recommended by IPSJ SIGs"

Parallel Programming with Tree Skeletons	Ryota NAKAMURA	1- 121
Personalized Recommendations for Ubiquitous Learning Environments : Decision Support System Using Intelligent Embedded Agents Moushir M. EL-BISHOUTY		1- 122
A Study on Flexible Group Communication Architecture Compatible with Both Security and Mobility	Hidekazu SUZUKI	1- 123
A Study on a Replica Distribution for Sharing Location Dependent Information on Ad hoc Networks	Gen TSUCHIDA	2- 222
A Computational Study of Routing Algorithms in Mobile Ad-Hoc Networks	Kentaro ABURADA	2- 223
Edifice of Highly Potential Wireless Communication Systems on Smart Antennas	Masahiro WATANABE	2- 224
A Study on the Cryptanalytic Methods Involving Implementation Analysis	Masahiko TAKENAKA	3- 374
Fair Mobile Commerce Infrastructure	Masayuki TERADA	3- 375
A Study on Intelligent Agents in Ubiquitous Networks	Kenta CHO	4•5- 582
Exploiting Regularities in Natural Acoustical Scenes for Monaural Audio Signal Estimation, Decomposition, Restoration and Modification Jonathan LE ROUX		4•5- 583
Analysis-Synthesis Model of Singing Voice that Characterize Varied Singing Behaviors and Its Practical Applications Yasunori OHISHI		6- 728
AND-OR Tree Search Algorithms for Domains with Uniform Branching Factors	Kazuki YOSHIZOE	6- 729
"Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's" Oral History : Interview with Dr. Kiyasu Zen-iti	Naoya UKAI, Osamu UDA and Akihiko YAMADA	1- 114

Differential Analyzer	Eiiti WADA	3- 368
Nomination of the Information Processing Technology Heritages	Hiroharu ASAHI	6- 724
Oral History : Interview with Dr. Hosaka Mamoru	Naoya UKAI, Osamu UDA, Chigusa KITA and Akihiko YAMADA	9- 1174
Oral History : Interview with Dr. Nishino Hiroji	Naoya UKAI, Tsuneo URAKI, Toshio MATSUNAGA and Akihiko YAMADA	12- 1554
"How to Teach What in a Course of Programming?"		
Practical Report on Programming Class using Scratch	Kazunari ITO	1- 111
Project-based Software Engineering Education in KUT	Yoshiaki TAKATA	2- 210
Teaching Programming by Processing	Macoto KIKUCHI	2- 213
A Summary of Our Educational Programs for New Hires and Junior Staffs, and Our Challenges	Kyoichi TACHIKAWA	3- 358
The Report on the Education Program for a New College Graduate Employee ; How to Connect Learned Knowledge with the Real World	Tomonori MAKISHIMA	3- 361
Programmer's Ideal Way on Game Development Site	Munetaka ICHIKAWA	3- 365
""Peta-gogy" for Future"		
Column : The People Living in Darkness would Like to See a Great Light	Eiko TAKAOKA	4•5- 553
Did You Know?	Katsuhiko KAKEHI	4•5- 554
Past, Present and Future of the Subject "Information Study" in Japanese Highschools (I)	Yasushi KUNO	4•5- 559
Column : Could You Implement Your Idea to K12 Class of Information Study?	Takeo TATSUMI	6- 735
Introducing a Basic Programming Education Using Dolittle Programming Language in an Engineering Department of University	Susumu KANEMUNE	6- 736
Past, Present and Future of the Subject "Information Study" in Japanese Highschools (II)	Yasushi KUNO	6- 740
Column : May We Collaborate?	Yasushi KUNO	7- 863
The Class of Informatics Pedagogy in a Private and Local University with the Majority of Arts Sciences	Ben Tsutom WADA	7- 864
The Making Story of High School Teacher of "Information Study"	Ritsuko NISHIBATA	7- 868
Column : Expecting for Fundamental Programming in Professional Education	Susumu KANEMUNE	8- 1019
Research on Curricula of Information Science and Engineering Departments based on their Syllabuses	Teruo HIKITA and Kiyoshi ISHIHATA	8- 1020
A Utilization of Smartphone in Higher Education	Kazunari ITO	8- 1026
What You Can See by Assembling Jigsaw Puzzle Pieces?	Tetsuro KAKESHITA	9- 1181
Development of Basic Operative Skills for IT Specialists : Undergraduate Education Program in Hosei University	Katunobu ITOU, Suguru ARAKAWA, Yasunari ZEMPO and Satoru FUJITA	9- 1182
Programming Education Using Lisp at Kyoto University	Taiichi YUASA, Hiroshi G. OKUNO and Tetsuya OGATA	9- 1191
We Need a Study Group on Educational Methods, Don't We?	Katsuhiko KAKEHI	10- 1335
General Information Education at the University of Tokyo	Tetsuo TAMAI	10- 1336
Information Education of General Education in Hokkaido University	Izumi FUSE and Shigeto OKABE	10- 1341
Do You Know Contest "ISECON" of the Education?	Yasuko KAMINUMA	11- 1441
Impact of Accreditation for Professional Graduate School	Tetsuro KAKESHITA, Katsuhiko KAKEHI and Kiyoshi AGUSA	11- 1442
Informatics at Vocational Training School for Persons with Disabilities	Hiroki MANABE	11- 1447
Do you Enjoy Programming?	Hiroyasu KAKUDA	12- 1561
Quality Assurance of College Level Education through JABEE : Reforming Higher Education through Accreditation	Kazuo USHIJIMA	12- 1562
Creative and Effective CPD (Continuing Professional Development) for Professional Engineer	Takeo KUROSAWA	12- 1567
IPD (Initial Professional Development) Povieded by IPEJ (The Institution of Professional Engineers, Japan)	Susumu KOBAYASHI	12- 1573

■ Column

""I" Report"

Report of IEEE ICC 2010	Takashi SHIMIZU	1- 124
ICFP 2010	Kazuhiro INABA	1- 128
CSS2010/MWS2010	Atsuo INOMATA	2- 216
Attending PRIMA2010 : Steering Committee Member's View	Takayuki ITO	3- 376
MDD Robot Challenge 2010	Takao FUTAGAMI	4•5- 572
ITU-T SG 17 Meeting	Youki KADOBAYASHI	4•5- 577
JANOG27 Meeting	Yoshiaki KITAGUCHI	6- 730
IEICE SIG-WI2 Conference Report	Yoshinori HIJIKATA	7- 874
NII Shonan Meeting on "Graph Algorithm and Combinatorial Optimization"	Naoyuki KAMIYAMA and Naonori KAKIMURA	7- 879
International Workshop on Security IWSEC 2010 : Organizing International Conference from Japan	Hiroaki KIKUCHI	8- 1030
Deploying IPv6 - Essence of the IPv6 Local Summit -	Tomohiro FUJISAKI	9- 1196
21th World Computer Shogi Championship Report	Takeshi ITO	10- 1346
ICC 2011 and Future Network & Mobile Summit 2011	Masugi INOUE	11- 1452
History of Computer Exhibition	Hitoshi NISHIMURA	12- 1532

■ Senior Column

"Messages on Favorite IT"

Society for Innovations	Iwao TODA	1- 131
Past and Future	Yoichi MURAOKA	2- 221
Expecting the Emergence of Japanese IT Innovators	Masatoshi AIZAWA	3- 357
Create the Environment to Induce Young People to Nurture Outgoing Spirits	Takashi MASUDA	4•5- 471
What is Expected We should Do	Yasuyoshi INAGAKI	6- 723
Writing Tools for Japanese Documents - Past and Present -	Kazuo USHIJIMA	7- 773
A Trial Support to Acquire the Degree of Doctor for Skillful Engineers	Hisao KOIZUMI	8- 1018
Information Technology and Power Saving	Yoshihiro TOHMA	9- 1157
Restoration of New Japan and Grow up Strategy of Venture	Shoichi NOGUCHI	10- 1321
Who is the Owner of IPSJ?	Hiromu HAYASHI	11- 1409
Robust System or Resilient System? - A Personal Dream Inspired by the Disaster -	Hitoshi WATANABE	12- 1531

■ IPSJ Activity Report 2-225, 2-231, 2-260, 9-1198

■ Topics 2-241

■ Conference Report 10-1350

■ Mourning 1-133, 2-265